



どうなんだより

平成27年度夏号

株式会社 かさまつ農舎

～働きやすい環境づくりと魅力ある農業のために～

地域を担う

農業生産法人の横顔



所在地：知内町
代表者：笠松 彰
構成員：3名
雇用：常時雇用2名、パート8名
設立：平成26年2月
事業内容：施設園芸（にら・トマト）

平成26年に家族内で話しあい法人化に踏み切る。働いている人たちに意欲をもって働いてもらうために環境を整えている。現在は、後継者の剛久さんが経営の中心となり営農を行っている。今後は、地域で就職したいと思える産業にしていきたい。

法人経営のメリット

お金の流れが明確になり、より経営が把握しやすくなった。信用力が増すため、資金が調達しやすくなった。必要とされる部門への資金運用・投資がスムーズにできるようになった。

法人運営のポイント

人の成長、人とのつながりを大事にしている。働いている仲間が、意欲をもって取り組み気持ちよく働ける環境、職員の生活設計をイメージできる職場づくりを目指し運営している。

これから法人化を目指す農業者へ一言

経営者として働いている人に対して責任を持つことが大事。
従業員、取引先、家族の心をつかんで運営していく。信頼関係を持つ。

道南地区の農業生産法人の推移

渡島・檜山管内の農業生産法人数は、平成に入ってから順調に増加し、平成27年には97法人となっています（北海道：3,045法人）。

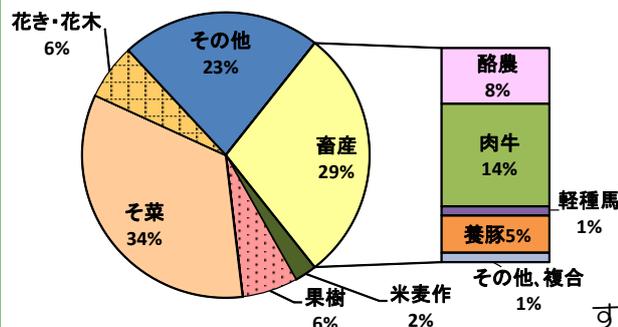


図2 渡島・檜山の農業生産法人営農類型 (H27 農務課)

トピックス

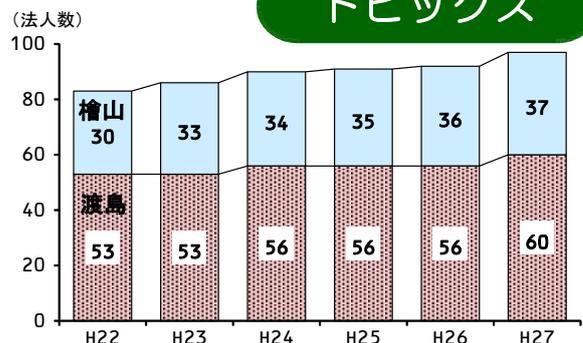


図1 渡島・檜山の農業生産法人数の推移 (H22～27 農政部)

営農類型では、「そ菜」と「畜産」で6割強を占めます。北海道全体に比べ園芸作物を中心とした法人経営体の割合が多いのが特徴です。「その他」では牧草生産、野菜苗生産など多様な形態が見られます。

集落営農や農業生産法人に関するお問い合わせは、最寄りのJAまたは普及センターまで。

編集事務局（渡島農業改良普及センター）

電話番号 0138-77-8242